

第22回 吹田市政策会議開催結果について

日時:平成28年3月28日(月)11時～11時45分

場所:特別応接室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員6名の出席

(市長、太田副市長、池田副市長、総務部長、市民生活部長、行政経営部長)

○案 件 名	○担当及び関連する部局名
吹田市公共施設最適化計画【実施編】の策定について	行政経営部 資産経営室
○審議内容と結果	
<p>【案件概要】 公共施設の最適化は、施設の老朽化の進展と人口構成や社会情勢などを見据え、公が必要なサービスを、将来にわたって提供し続けることが出来るように取り組むものです。これまでの取り組みで、一般建築物の現状と課題を整理した基礎資料として平成25年(2013年)3月に「吹田市公共施設白書」を作成し、さらに、平成26年(2014年)3月に、一般建築物の最適化を推進するための基本方針をとりまとめた「吹田市公共施設最適化計画【方針編】」を策定しました。</p> <p>吹田市公共施設最適化計画【実施編】(案)は、同計画【方針編】で定めた基本方針について、すべての一般建築物に共通する取組としてより具体的に整理するとともに、学校や保育所、公民館など施設の目的や用途ごとに分類し、個々の施設について行った評価をレーダーチャートで可視化するなどにより、複合化等施設の方向性を用途分類別にとりまとめました。</p>	
<p>【所管部の考え方】 本計画【実施編】(案)は、持続可能なまちづくりの実現に向けて、公共施設をすべての人が安全快適に利用できるよう取り組むものです。策定にあたっては、全庁横断組織である吹田市公共施設最適化推進委員会及びその下部組織である一般建築物最適化検討作業部会で議論を重ね、進めてきました。今後は、本計画【実施編】に基づき、個々の施設の具体的な方向性の検討を進めます。</p>	
<p>【審議事項】 吹田市公共施設最適化計画【実施編】(案)について</p>	
<p>【審議結果】 行政経営部資産経営室より、資料に基づき審議事項の内容について説明があり、その後質疑応答を行った。</p> <p>質問…今後の進め方に関して、早期に方向性を示す必要のある施設と中長期的な方向性を示していく施設とをどのように分類し、検討しようと考えているか。また、平成32年度時点での到達点は。</p> <p>答え…公共施設最適化推進委員会において、早期に方向性を示す必要のある施設については、施設評価に基づき、老朽化や設置目的等の評価が低くなっている施設など、課題のある施設を抽出し、各施設の利用圏域や機能に応じて全庁横断的に検討を進める。 また、平成32年度までに全施設に網をかけて検討を行う。課題のある施設をピックアップし、必要な施設については、順次、実施計画に計上する。</p> <p>指示…本計画がハード面だけを対象としたものとイメージされることがないように、地域特性等に応じて運用面、機能面などの検討も行われる必要がある。 各施設の方向性を検討するにあたってのチェックリスト等(移転・現地建替、高層化・地下化、分散化・複合化などの検討項目)の作成についても検討すること。 公共機能の最適化、空間の最適化を進めること。</p> <p>まとめ…本案件については承認された。引き続き、手続きを進めることとする。</p>	